

月刊

6

2018年
JUNE
VOL.12

狩野探信 草花虫図

ロータリー親睦活動月間



COPY FOR MEMBERS



地区行動指針 理念と実践 ～Think Next～



第23回 RI日本青少年交換研究会 千葉会議(幕張メッセ) RID2790 ホストガバナー挨拶

国際ロータリー第2790地区
2017-18年度ガバナー 寺嶋 哲生 (柏RC)

一年を振り返って

過ぎてしまえば、時の経つのは早いものです。今月を以って、私のガバナーの役目が終わります。ガバナーエレクトの一年を含め、都合2年間の任務であったように感じております。ガバナー補佐・地区委員をお努め頂きました皆様を始め、一方ならぬご縁を頂きました皆様には、心より感謝申し上げる次第です。

私の運営方針として「理念と実践 ～Think Next～」を掲げさせて頂きました。ロータリーの根幹を成すべき職業倫理を認識しつつ、実践的奉仕プロジェクトを推奨する。理念は実践を否定せず、実践は理念を否定しない。そんな思いを表現した言葉でした。加えて、人口減少社会に在って不作為は衰退を意味するものと捉え、RIの言う戦略計画を推奨する。Think Nextには、そんな意味を込めました。しかし、今にして思えば何とも実の無い空虚な言葉であったと感じ、赤面の思いが致します。全般に、ロータリーにとって最も大切である「親睦」の要素が希薄であったと反省しております。

公式訪問は地区内83クラブに対し、複数のクラブの合同を含めて全61回で回らせて頂きました。お迎え頂きました皆様には、心より感謝申し上げます。公式訪問を通じて私が強く感じたことは、ロータリーのポテンシャルの高さでございました。どのクラブに於いても、職業人として魅力的な方々が数多く集い、真摯にロータリーと向き合っておられる。

一世紀を超えるロータリーの歴史をひもとき、自らが理想とするロータリアンになるべく、研鑽を積まれる皆様。只今のRIの指し示す方向性に対し、ロータリーの行く末を案じてロータリー論に熱弁を振るわれる諸氏。受益者の便益に思いを馳せ、誠実に奉仕プロジェクトと向き合う方々。私が想像していた以上に、遥かな高みを目指される皆様の何と多い事でありましょうか。私も、斯様に魅力的な方々の会する組織の一員である事に、襟を正される思いでございました。

ポール・ハリスが「寂しかったから」創ったロータリークラブの最初の綱領は、親睦と互惠取引の二つであったと聞き及びます。1907年に加わった社会奉仕という概念と、互惠取引の閉鎖性を修正する為に1915年に採択された倫理訓。これらを以ってロータリーの骨格が構成されたものでありましょう。その底流には信頼できるコミュニティーを得たいという願望があり、この願望がロータリーを発展させ、維持して来たのだと感じます。多くのロータリークラブに於いてその願望が結実し、魅力的な方々が信頼できる友人を得て、素晴らしい事業を成している。ガバナーを拝命して、そんなロータリアンと接する機会を得た事がこの上ない幸いであったと感じます。全てのロータリアンに衷心より感謝を申し上げ、最後のご挨拶と致します。



「今年度を振り返って」 思うこと

地区研修リーダー
研究・研修統括委員会
委員長 関口 徳雄 (浦安RC)

寺嶋年度が地区運営及び奉仕活動においてまずまずの成果を得、これを検証しつつ仕舞に向かっていくこと、先ずはおめでとうございます。

一方で私は研修リーダーとして、又研究・研修統括委員長として、どの程度お役に立てたか振り返ってみて、その能力不足に忸怩たる思いであります。

昨年は規定審議会による嵐が吹きました。即ち例会の運営方法と出席に柔軟性を認めることがロータリーの本質を壊すことになるとの危惧が拡大しましたが、結局奉仕の理念やその哲学、そして職業分類、中核的価値観が変わるものではないことがわかり、何やら安堵しました。

さて今年度は、奉仕活動云々よりも「職業奉仕」に関する〈本田爆弾〉の一発がロータリーの本質に少しでも触れた、あるいはそう思っている我が地区ロータリアンのどてっ腹に風穴を開けた、衝撃ないし、記念(?)すべき年であったと思います。顧みすれば、私どもは、職業奉仕は他の奉仕部門の上位概念であって、他の奉仕部門とは別格だと教えられてきました。また職業奉仕はロータリーの金看板だとするものでした。

私の同期の本田PDGの勇気ある問いかけは、ここ数年世界のロータリーの流れに背を向けてきた我が国の旧態依然とした考え方に警鐘を鳴らすもので、日本のロータリーのガラバゴス化を心配するものでした。もし、本田さんが画くとしたら、あのなじみのある「ロータリーの樹」はどんな風に描かれるのか、興味あるところです。

私は委員長として、理念研究、研修、RLIの各委員会をまとめ、各分区主催の「ロータリー情報研修会」にいわゆるアドバイザーとして参加しました。私の場合9分区でしたが、3委員長は要請のあった分区すべて、他の委員もほとんど参加されました。ガバナー補佐も、委員長も、委員もその下準備や何やらで大変な作業を愚痴ひとつ言わず、当たり前のようにしていましたが、この人たちは一体ご自分の仕事をどれほどまで犠牲にしているのか考えると、頭の下がる思いでした。ガバナーの活動が、地区運営からロータリーの勉強まで大変だ、過酷だと言われておりますが、とんでもない。このような地区委員の皆さんの滅私奉公ともいべき奉仕活動があつてこそそのガバナーだと気付かされた一年でした。



「今年度を振り返って」

地区研修サブリーダー
ロータリー財団統括委員会
委員長 宇佐見 透 (千葉幕張RC)

皐月晴れの連休を前に、例年通り地区研修協議会が開催され、橋岡丸の出航が迫る中、寺嶋丸は溢れんばかりの成果と共に、長かったようで、あっという間に過ぎ去った航海を終えようとしています。ガバナーは、エレクト時に予算編成とチームの組閣、更にGETSを経て国際協議会での研鑽から、自らの地区テーマを掲げ、三大セミナーを通じ方針が示され、7月からは公式訪問を中心にRI、地区テーマの実践が始まります。

寺嶋ガバナーはイアン・ライズリー会長が示されたRIテーマ「Making A Difference」のもと「理念と実践～Think next～」を地区テーマに掲げられ、ロータリー活動の目的や中核的価値観を不変とし、ロータリアンの身体的奉仕や金銭的奉仕実践を指導されました。更にはRIが求める奉仕活動の実践には、理念の再考が不可欠であり、社会情勢の変化に対応すべく更なる対応を推進されました。この施策は実を結び、新たな道標が形成されたと感じます。長年、単年度主義を旨としてきた地区組織でしたが、戦略計画委員会による単年度では意味をなさない事業計画や分区再編など、時代に即した改革、改変等が実質に審議され始めました。大きな一歩が記された年度と感じます。

私は今年度、ロータリー財団の地区統括委員長として3年任期の最終年でもありました。

本年も寄付0クラブの消滅を中心に、補助金の活性化を推進してきましたが、寺嶋ガバナーも強力に指導下さった結果、4月末で全てのクラブ様より年次寄付へのご協力を頂いたことをご報告申し上げます。この3年連続の大きな成果は、13名のガバナー補佐の方々による積極的活動と83名のクラブ会長による理解の賜物とも感じています。地区財団委員会、委員の方々全員が地区への出向責務の観点から行動されておられました。委員長を始め、委員の皆さんお一人お一人の労に“Service Above Self”の言葉を贈ります。

最後になりますが、地区内全てのロータリアンの皆様に深く御礼申し上げます。

ガバナー補佐 今年度を振り返って



第1分区ガバナー補佐
増田 定男 (市川IRC)

9月30日に開催された分区の情報研修会では、『ロータリアンであることを誇りにしよう』をテーマに有意義なディスカッションの場を持つことが出来ました。11月2日には千葉バーディークラブにて親睦ゴルフコンペ。2月8日のIMでは、山崎製パン(株)飯島延浩社長に基調講演をいただき、21世紀の経営手法について学ぶことができました。本年度行事も大過なく終了し、地区大会が過ぎれば後はスケジュールを消化するのみと思いはじめた本年2月、ホストクラブの石井会長が急逝され、直前会長としてクラブ会長も兼務することとなりました。

ガバナー公式訪問時の事前クラブ訪問でクラブ協議会に参加して、各クラブそれぞれの活性化の兆しを感じることができました。会員増強が進んでおり、平均年齢が下がっているようにも感じます。これからが楽しみです。

寺嶋ガバナー、神野幹事長をはじめスタッフの皆様、ホストクラブである市川ロータリークラブ、第1分区各クラブの会長、幹事をはじめとする会員の皆様、分区運営にご協力を賜り心より感謝申し上げます。



第2分区ガバナー補佐
国分 裕二 (船橋みなとRC)

2790地区の皆様、第2分区の今年度ガバナー補佐をしております国分でございます。いよいよ今年度も終わりが近づき、安堵している昨今であります。まずは、寺嶋ガバナー、神野地区幹事長及び、地区の役員の皆様、ガバナー補佐仲間の皆様、右も左も分からない私を温かくご指導して頂き、皆様の御厚情に深く感謝申し上げます。この1年は情報研究会から始まり、インターシティミーティング、地区大会と経験と知識の浅い私にとりましては、全てが不安の中の開催でした。その不安の中で、分区の仲間であるロータリアンの皆様、未熟な私にお声を掛けてくださり、とても勇気付けられ大きな力となりました。

改めましてロータリアン皆様の友情に深く感謝申し上げます。この歳になりこれほどの勉強をさせていただく機会はありません、この経験を今後のロータリアン人生に生かし、皆様のお役に立ちたいと思っております。ありがとうございました。



第3分区Aガバナー補佐
宮本 和夫 (千葉幕張RC)

残り一か月ほどの大役になりました。ガバナーはじめ分区内の皆様には大変ご迷惑をおかけし、また応援を頂きまして、誠にありがとうございました。この一年を振り返りますと、一番の思い出は八月に第3分区A全体で参加した「千葉親子三代夏祭り」でした。ロータリアンの親睦と広報活動を目的としており、おそろいのロータリーマークの入った法被を着ての参加になりました。当日は多数の親子の参加や米山の学生、青少年の子供たちの参加も頂き盛大なものになりました。また、非公式行事ではありますが、二月に第五回区内ボーリング大会を行いました。六十名からの参加をいただき、老いも若きも楽しめたように思えます。今年は親睦を中心に行ってきましたが、情報研究会、IM等への多数のご参加ありがとうございました。ロータリーの友情に感謝いたします。



第3分区Bガバナー補佐
小池 清二 (市原RC)

本年度、RI会長は「ロータリー：変化をもたらす」、寺嶋ガバナーは「理念と実践」を提唱し、奉仕理念の習得と奉仕の実践を奨励しておりました。ガバナー補佐の立場はこれらのテーマをクラブに伝え、実践することでクラブの活性化を図ることでした。RLI方式の会話で意見を出し合い、実践することがクラブの活性化に繋がることをお伝えしました。

ガバナー補佐の任務は、先ずロータリー研修会を開催することで、「ロータリアンは誇りを持つ」と題し、講演とテーブルディスカッション方式で研修をいたしました。IMでは理念と実践例の雑誌「ロータリーの友」の元編集長の二神典子様を講師にお願いし「分かち合おう・親しもうロータリー」と題し、ロータリーとは何かを会場の皆様と談話いたしました。ガバナー公式訪問では、寺嶋ガバナーのお人柄の爽やかなお話と各クラブの奉仕活動に賛辞を頂きました。6クラブの奉仕活動に、他のクラブのご理解とご協力があれば、もっと公共イメージアップされると思っておりました。一年間のご協力に深謝致します。



第4分区ガバナー補佐
内田 稔 (木更津東RC)

月日の過ぎ去るのは早いものです。第4分ガバナー補佐に就任して約10ヶ月が経とうとしています。クラブ訪問、ガバナー公式訪問、情報研修会、IMと夢中で活動してまいりました。反省点もありますが、分区内のロータリーアンの友情に励まされ、ほぼ、寺嶋ガバナーの地区指針を各クラブに伝えることができたと思っています。

ロータリーは時代とともに変化してきましたが、近年、会員増強の為に活動規定が柔軟化してきています。このような状況の中で、寺嶋ガバナーの言う、ロータリーの目的や中核的価値観は不変であり、職業倫理を中心にした奉仕の基本理念は全く変わっていません。

ところが、社会を見渡すと相変わらず、倫理感の欠如した現象が横行しています。益々、ロータリーの基本理念の重要性を感じます。私自身は高齢(74才)になりましたが、この1年の経験を生かし、これからも寺嶋ガバナーの指針「理念と実践～Think Next～」を道標とし、残りの人生をすごして行きたいと思っています。



第5分区ガバナー補佐
西川 佳璋 (勝浦RC)

昨年の7月1日付けで寺嶋ガバナーより委嘱を受け、右も左も解らずただひたすら、職務遂行に邁進し、この間、母体クラブの仲間、分区の皆様の後押しを頂きまして、無事に迎えた今日です。ガバナー補佐の主な仕事は、地区の方針に皆さんの協力を頂けるように！、分区の皆さんがRCを退会しないように！、ガバナー補佐の企画する「地区協議会」と「IM」に御一人でも多くのメンバーの参加を願う！、また、分区の問題を語り合い分区の結束を図

る！等々である。勿論、この間には、分区内の各クラブを訪問し、各クラブの「弱体化」を防止するなどの重要な職務がついて回ります。

我が「第5分区の勝浦クラブ」から2790地区2020-21年度「初の女性ガバナー・漆原撰子氏」が誕生することになりました。目出度い限りであります。漆原女史はガバナーとして「地区の為に腕を振るう」でしょう。地区全体で、東京五輪の年に実働する「漆原体制円成」に向け、第5分区として支援していきたい。



第6分区ガバナー補佐
志田 延子 (茂原中央RC)

寺嶋ガバナーのもと、至らない点はたくさんありましたが、無事一年間第6分区のガバナー補佐を務めることができました。第6分区の多くの皆様のご協力のもと情報研修会・IM・分区ゴルフ大会等、喜んでいただける研修と親睦ができたのではないかとホッとしております。最初は不安で一杯でしたが、地区の研修リーダー関口様、サブリーダー宇佐見様など顔見知りの方々もいらして安心して取り組むことができました。同期のガバナー補佐の皆様も前向きな方々ばかりでした。ガバナー補佐になったことで直接地区委員長のお話などを伺うことができとても勉強になりました。また、私の所属する茂原中央ロータリークラブの創立25周年の式典と祝賀会には、寺嶋ガバナーをはじめ地区の方々や分区内外から大勢のお客様にお越しいただき、心より御礼申し上げます。一年間本当にありがとうございました。



ガバナー補佐 今年度を振り返って



第7分区ガバナー補佐
中村 亮太 (旭RC)

一昨年秋、ガバナー補佐をとの声が何処からともなく聞こえ、仕方なく受けたが、日が経つに従い恐怖に襲われる様になった。自分の力の無さと頭の悪さに、愕然とするばかりであった。ぎりぎりになって、どうしたら良いか周囲のメンバーに相談すると、幹事を依頼しなければとの事。急遽、加瀬氏と飯塚氏に無理矢理お願いをした。私自身は元々ぼんやり者のため、居眠りをしていても上手に転がしてくれ、今日まで至ることが出来たのである。元々仲の良い分区ではあるが、各クラブの会長幹事とメンバーと、我が補佐幹事のお陰と深く感謝するものである。今、終盤に来て、各クラブの評価やコメントをまとめる段階で、はたと困っているところである。RI会長の「ロータリー：変化をもたらす」が理解出来なかった者の悲哀である。



第8分区ガバナー補佐
高岡 正人 (小見川RC)

今年度も余すところ1ヵ月となり、もう少しでガバナー補佐の仕事も終わりになります。振り返ってみますと、準備の為、前年度から毎月のようにガバナー補佐会議が有り、ほぼ2年間が補佐としての期間であったと思います。最初はガバナー補佐は、どのような仕事をどう進めていくのか分かりませんでしたので、別の用事があっても補佐会議を優先して出席しました。会議も何回か出ていると、寺嶋ガバナーの目標や考えを各クラブに伝えることが大事な仕事の一つだと言う事が分かりました。今年度の始め、新会長幹事会が有り、分区の4クラブの新しい役員の方にお会いした時、これからこの仲間と一年間一緒に仕事ができると思うと、非常に嬉しく思いました。そして、もうすぐ任期終了になりますが、楽しいあつという間の事であったと思いますし、良い思い出になりました。今後も今年度の役員の皆様とは、良いロータリーの友となれると確信しています。



第9分区ガバナー補佐
諸岡 靖彦 (成田RC)

ガバナー補佐の任務は、何とも遣り甲斐のある仕事でした。分区内6クラブを定期訪問し、特に事情あるときは自クラブ以上に気をもむこともありました。ガバナーの気持ちに少しは近づくことが出来たのではないかと思います。ガバナー公式訪問では、事前訪問から、本番での対話が円滑に進むよう設営し、目線を合わせた協議ができるよう心を尽くしました。分区内会長、幹事会ではクラブの考え方とのギャップを埋め、その後の奉仕活動や地区、分区の公式行事に向けて、主体的、積極的な参加が得られるように務めました。運営が硬くなるしいとの声もありましたが、地区方針をクラブリーダーに伝え、これを共有する事が7分、クラブ間交流が3分と考えておりましたので、間違いはなかったと信じています。そうした下地があったので、11月のロータリー情報研修会も3月のIMも各クラブの全面的なご協力がいただけたものと思います。1年間のご協力に感謝申し上げます。



第10分区ガバナー補佐
大内 啓 (柏南RC)

年頭でのRI会長メッセージ“持続可能な奉仕の究極”(ロータリーの友7月号)に、『ロータリー入会のきっかけが何であれ、私たちがロータリーにとどまり続けるのはロータリーで充実感を得ることが出来るからです』と述べております。

ロータリーで得られる充実感とは、自らがロータリーに積極的に参加し、変化を作り出す一人として能動的に立ち向かい、様々な経験の積み重ねから自らの存在の価値を見つけ出せた時に感じ取るものではないでしょうか。

ガバナー補佐として、クラブの魅力ある奉仕活動にどれ位お手伝いできたのか疑問は残りますが、IMのテーマとして地域における社会奉仕活動に「持続可能な奉仕」を取り上げ、意見の交換ができたことは収穫でした。また各クラブの努力による会員増強の成果として、入会5年未満の会員さんが半数以上を占める分区の合同例会では、会員同志のディスカッションの機会を多くとり幅広い意見の交換を図りました。



第11分区ガバナー補佐
杉山 芳夫 (習志野RC)

無我夢中の手探り状態で終わったような、あっといふ間の一年間でしたが、会員各位のご協力により、ガバナー補佐の任を全うできた事に心より御礼申し上げます。「ロータリー:変化をもたらす」という2017-18寺嶋ガバナー年度のRIテーマを、皆様にとどの程度理解して頂けたかは解りません。2790地区が線路とすれば、私と鈴木均分区幹事が一区間の運転手と車掌として、列車を次につなげる事を使命と考えてここまで参りました。

この一年間で何をなし得たのかは、自問自答しても解りません。一つ確かなのは、例会に新たな出会いと発見があったと言うことです。多くの地区行事や他クラブの例会への参加を通じて、ロータリーの素晴らしさを強く感じる事ができたのは、自分自身の大きな変化でした。皆様にも、例会への出席こそがロータリーを知る第一歩であると再確認して頂き、さらなる活発な活動をお願い致しまして、一年間の締めくくりと致します。ありがとうございました。



第12分区ガバナー補佐
安蒔 俊雄 (松戸東RC)

ガバナー補佐を拝命し、ガバナーの分身として、地区運営方針等を分区内各クラブへの啓蒙等、各クラブの実態や地区への要望等をガバナーへ適切・適切に報告することなど、重要な役割をいただきました。不満足な点多々あり、ご迷惑をおかけしたと思いますが、素晴らしい経験に感謝しております。とりわけ、ガバナー補佐等の予定者会議において、

ガバナーの本年度施策のうち、ある重要項目の推進について意見交換をさせていただきましたことは忘れたくない体験であり、寺嶋ガバナーの真摯なご対応に敬服した次第です。

第12分区の5クラブは合同例会、情報研修会、IM、親睦ゴルフ大会を通じて充実した交流・親睦が図られたと思います。うち4クラブには、松戸伊勢丹撤退に伴い、例会場移転問題がありましたが、関係各位のご尽力により新例会場への移転が混乱なく完了いたしました。12分区の皆様には、公式訪問等各種事業にご協力・ご支援をいただき感謝申し上げます。



第13分区ガバナー補佐
山崎 巖 (野田東RC)

寺嶋哲生氏が2790地区のガバナーに就任され約一年が経過、第13分区ガバナー補佐の役を拝命し、地区の活動、各分区での活動状況を窺うことができました。研修統括委員長の関口リーダー、宇佐見サブリーダーはもとより地区委員の方々の支援を受けながら、ガバナーが活動指針として提唱された「理念と実践～Think Next～」を理解し、各種事業、特に地区大会、分区でのIM等無事執り行うことが出来、各方々に衷心より感謝申し上げます。AG会議、委員会報告で得た指針なり情報を分区に持ち帰り伝達する役目は、中味が同一でないクラブに伝える難しさを感じました。幸いにも13分区5クラブには知友人がたくさん居り、多大なるご協力ご支援が得られ感謝に堪えません。13分区のIMのテーマであった「ロータリアンであることを誇りにしよう」は多くの知友人を得、更には信頼をも培う内容でした。最後に地区、分区に限らず役が人を育てることに繋がります。是非多くの役職を経験されるようお願いする次第です。

『ロータリーの友』に投稿しましょう

ロータリーの友委員会 地区代表委員 **根本 健一** (柏RC)

『ロータリーの友』(以下『友』と略)はRIによって承認された地域雑誌であります。しかし、上意下達の堅苦しい内容ではなくて非常にフレンドリーな雑誌です。全ページの三分の一は会員の皆様の投稿で成り立っております。

投稿のジャンルも、友愛の広場、ロータリー・アット・ワーク、私の一冊、声、ロータリー俳壇・歌壇・柳壇等々、実に多様です。是非、『友』に投稿して下さい。

『友』を通じて、2790地区の皆様素晴らしい活動振りを日本全国に発信しましょう。

今年度を振り返って

管理運営統括委員会



管理運営統括委員会
委員長 高橋 潤一 (新千葉RC)

管理運営統括委員会は3委員会構成されてきました。会員増強退会防止委員会は、9月に行われたセミナーを中心に各クラブにおいての卓話を積極的に重ね、会員、特に女性会員の純増に努力してまいりました。広報・公共イメージ向上委員会はIT、SNSの活用をアピールし、各クラブのホームページ、FBの向上を実行してまいりました。フェロシップ委員会においては、地区内の新しい親睦活動グループの提案をしてまいりました。一年間この3委員会には、フルにロータリーの基本を地区内にアピールしていただき、更に地区内のロータリーメンバーの方々の協力をお願いし、実践していただきました。

ロータリアンの皆様の協力を感謝申し上げます。



会員増強・退会防止委員会
委員長 増谷 信一 (柏西RC)

寺嶋ガバナーの運営方針を基に、8月の会員増強・新クラブ結成推進月間に合わせて、「会員増強・退会防止セミナー」を8月26日に開催を致しました。寺嶋Gを始め、橋岡GE・宇佐見地区研修サブリーダー・神野地区幹事長のご出席を頂き、地区内83クラブより会長・幹事・会員増強委員長を含めまして、合計133名の皆様に参加をして頂きました。

第1部には、パネルディスカッション。歴代の会員増強・退会防止委員長3名の方々に、各年度の委員会での事業やその成果や成功事例等を踏まえてのお話と地区内女性会員数が一番多い柏RCからもお話を聞く事が出来ました。

第2部は、テーブルディスカッションを行い、会長や幹事の立場から、又会員増強委員長の立場から「会員増強・退会防止」についてのご意見を出して頂きました。

又、当委員会は、依頼のあったクラブに対して「卓話」訪問をし、各分区やクラブの地域性を加味して、「会員拡大の意義や必要性・拡大方法等」についてお話をさせて頂きました。

年度終盤になり思う事は、会員拡大は分区や地域での温度差がすごく有る事を実感致しました。しかし、会員増強は地区や分区・クラブにとって永遠の課題です。

これからも、会長・幹事や会員増強委員長を中心に会員拡大を宜しくお願い致します。



広報・公共イメージ向上委員会
委員長 高橋 竜一 (松戸東RC)

当地区内でホームページまたはFacebookを運営しているクラブ数を再調査したところ2018年4月現在、83クラブ中68クラブ(約82%)でした。各クラブから情報発信の場はまずまずあるわけですので、あとは運営の仕方が重要になってくると思います。

今年度の活動としては八街RC、八日市場RCのホームページ作成を当委員会が協力させて頂きました。また、地区のホームページに地区クラブ一覧をマップで表示し、例会日や例会場などの基本情報を表示するようにしました。

当委員会のFacebookには地区委員会のセミナーや地区大会等のイベント、お知らせを随時掲載いたしました。平均で到達数(リーチ)は200から300人、多いときで500人くらいでした。1年間ご協力ありがとうございました。



フェロシップ委員会
委員長 藤崎 泰裕 (千葉西RC)

フェロシップ委員会は、この一年間地区内ロータリー親睦活動グループとロータリークラブとの連絡を促進し、親睦活動に参加する恩典を広めてまいりました。地区内のロータリアンと協力して認定のための申請基準を作成し、既に結成されているロータリー親睦活動グループと連携をして、地区内外に発信してまいりました。活動こそ地味でしたが、重要な申請基準を作成することが出来たのも、各方面の方々にご指導ご協力をいただきました賜物と御礼申し上げます。この申請基準は当地区の将来、ロータリー親睦活動に対し大きな役割を果たしていくものと自負しております。この一年間、委員会メンバーはもとより各ロータリー親睦活動グループの方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

研究・研修統括委員会



理念研究委員会
委員長 松田 泰長 (成田HRC)

1905年に荒廃していたシカゴで、信用できる商売仲間としてロータリーは誕生しました。域への奉仕を加えたロータリーは拡大を続け、やがて日本へも上陸します。この商売をするに当たっての心構えが日本古来の“職業倫理”と符合しました。Vocational Service・職業奉仕は日本のロータリー拡大の原点です。そして上陸からの長い年月は「ロータリーの日本に於ける文化」となりまし

た。この捉え方が世界と乖離していると杞憂する見方もありますが、文化は変わりません。年度内でこれらをまとめたDVDが完成します。ご覧いただき、皆さんのロータリー談義の糧としてください。



ロータリー研修委員会
副委員長 海寶 勸一 (千葉西RC)

活動内容を企画立案した準備委員会で、「ロータリアンであることを誇りにしよう」のテーマを提示し、承諾された時は安堵した。ロータリー研修を大道として、7月に「クラブ研修リーダー委員長セミナー」を開催し、謙虚に意見交流した。9月から11の分区を訪問し、「ロータリー情報研修会」を企画運営することができた。ガバナー補佐の理解と支援で、分区ごとにロータリー精神の涵養と誇りを持つ意義が、如何に大切であるかを悟りあった。ロータリーは人間形成を尊重する場として、クラブ例会で切磋琢磨する所作を認識できた。RLIのセッション中に、ロータリアンの誇りを尊重すべきとの心強い発表を耳にし、ロータリー研修委員会活動の相乗効果を素直に喜んだ。



RLI推進委員会
委員長 金子 公久 (成田コスモポリタンRC)

RLI活動は事前の会場手配に始まり、6月のFT養成講座が終了するまで1年半に渡る。RLIカリキュラムの各パート研修はRLI実行委員ファシリテーター (FT) が要となる。FTの技量が研修成果を左右する気の抜けない怖さがある。日々の謙虚な自己研鑽の自分磨きが人材育成強化となり、参加者が自分の言葉で意見交流する対話へのファシリテーションによる対話の楽しさに引かれるから。自分のロータリー観は他者の話しを聞き語り合うこと『お互いを知る』相手を理解することは、結果として自分を知る。ロータリーは習うより慣れる、多くの機会に参加し、ロータリーを楽しみたいものである。RLI草の根活動を支援頂いた仲間の友情に衷心より感謝申し上げます。

奉仕プロジェクト統括委員会



奉仕プロジェクト統括委員会
委員長 石井 弘 (松戸西RC)

奉仕プロジェクト委員会は「夢を語り、夢を実現させるために、一歩踏み出そう！一歩踏み出すと、クラブに感動と活力が湧き、クラブに変化をもたらします！」をスローガンに、第2790地区83ロータリークラブの奉仕活

動が、更に活性化し、活躍の場を広げて頂ける様に、更には一つでも多くのクラブが奉仕活動に一歩踏み出して頂く為のヒントを示すことによって、クラブに新しい変化をもたらして頂けるように、奉仕プロジェクトセミナーを始めIM、卓話、情報研修会にてPR活動実施させて頂きました。

各クラブ会員の皆さん、会員全員でクラブの夢を語って頂きましたか！新しい発見はありましたか！新しいことにチャレンジは出来ましたか！クラブに新しい変化を生み出す事は出来ましたか！主役はあくまでも各クラブ会員の皆さんです。各クラブの皆さんが勇気を持って奉仕活動に一歩踏み出して頂き、更にクラブが発展されます事を、お祈りいたします。最後に、奉仕プロジェクト委員会活動に対しまして御協力を頂きました皆様に心より感謝申し上げます。



職業奉仕委員会
委員長 中村 俊人 (柏東RC)

今年度の職業奉仕委員会活動をふり返ってみまして、各クラブのロータリアンの皆様には、職業を通じて奉仕活動へと結びつけられるかを、身近な実例を挙げながら、卓話に組み込み、解かりやすく伝達しようと、委員の皆さまと卓話依頼を受けました各クラブへ訪問し卓話を致しました。

しかしながら、この職業奉仕に付いても様々なご意見もあり、ロータリアンとして入会間もない方々と、大先輩の皆様との考えの違いも感じます。奉仕活動でも、いかにロータリアンとして、自分の職業に「誇り」と「愛情」と「高潔性」を持って最大級の努力をするか。これがロータリアンとしての職業奉仕と考えていますが、そこが他の奉仕団体との違いでもあると思います。

個人であってもまたクラブとしての活動であっても皆様にはこの考えを持続してほしいものです。一年間皆様には御協力頂きまして、大変感謝申し上げます。ありがとうございました。



社会奉仕委員会
委員長 向後 勝弘 (千葉RC)

地区への出向経験がないにもかかわらず、無謀にも社会奉仕委員長という重責を受けてしまいました。「地区の仕事は事業をすることではなくて、各クラブの応援をすることです。」という、当クラブの櫻木バスターガバナーからのアドバイスだけを頼りに、活動してまいりました。

石井統括委員長はじめ皆様のご協力で、奉仕プロジェクトセミナーから始まり、情報研修会でのPR活動、各クラブでの卓話など、どれだけクラブの応援になったかはわかりませんが、精一杯活動してまいりました。おかげで、新しい出会いや、貴重な経験をさせていただき、

私にとってかけがえのない一年となりました。この場をお借りして、皆さんに御礼申し上げます。感謝！



国際奉仕委員会
委員長 鈴木 莊一 (君津RC)

国際奉仕プロジェクトは、参加者がより意欲的になり、参加者の達成感・自信につながります。ひいてはクラブが活性化し入会見込み者が増えます。海外ネットワークを生かす点からもロータリアンであることを実感する奉仕です。前年度実施したアンケート結果により「補助金制度のハードル高い」、「事業内容をクラブ内で企画検討できない」というクラブが全体の60%もあり、そうしたクラブの現状を打破するため、現地にまで足を運ばなくても目や手の届く身近な地区補助金を活用した事例を卓話やセミナーを通じご紹介させて頂きました。地区内のクラブ、会員皆様が国際奉仕へ新たな一歩を踏み出し、地域に「存在感のある」クラブになることご祈念申し上げますとともに、今年一年の当委員会へのご協力ご理解に感謝申し上げます。また寺嶋ガバナーはじめ、国際奉仕委員会、奉仕プロジェクト委員会の皆様、君津RCの会員皆様にもこの場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。



青少年奉仕統括委員会



地区青少年奉仕統括委員会
委員長 津留 起夫 (市原RC)

今年度の青少年奉仕プログラムは、皆様のご支援を得て、良好にその目的を達する事が出来ました。予算面では、インターアクトの国外研修、青少年交換の派遣生対応に寺嶋ガバナーのご配慮を頂きました。各青少年プログラムを横断的に交流するクロスプロモーションは、今年度も維持され、各プログラムの参加者や各委員会に意義あるものとなりました。RIの常設プログラムを推進する為に地区委員会が設置されていますが、それ以外にも地区内83クラブでは、さまざまな青少年育成のプロジェクトを成功させております。しかし、まだまだ青少年のニーズを汲み取れていないのではないかと反省をしながら今年度を振り返り、ご協力を頂きました皆様に御礼を申し上げます。



インターアクト委員会
委員長 須藤 郁雄 (千葉西RC)

I.Aの目的は、奉仕と国際理解に貢献する友好精神の中で、相共に活動する機会を青年男女に提供することにある。目的に向かい3大事業を、8月I.A年次大会「70億の幸せを求めて」「国際社会で世界を変える」～自分たちにもできる国際協力～をテーマとして実施。11月にI.A国外研修「MakingDifference」をテーマに台湾にて実施。RID3481のロータリアン、インターアクトの皆様方には大変お世話に成りました。参加者より多数の感謝の言葉が寄せられました。

5月I.A指導者講習会は文理開成高校にて開催され、亀田総合病院様の協力、地域の福祉職員様・大学生等の協力により催されます。重要なことは、小さいけれど毎日出来る活動の積み重ねが誰か(己)の人生を変えていくという事に、変化に目を向け気付くことが本年度テーマ「変化をもたらす」ではないでしょうか。

1年間、各RC・提唱RC・青少年担当の皆様方には、大変お世話になりました。感謝です。次年度も支援・ご協力を頂きますようお願い致します。



ローターアクト委員会
委員長 丸山 泰典 (銚子RC)

ローターアクト委員会では柴崎地区代表を中心に1年を通して積極的な活動を行って参りました。クロスプロモーションというキーワードのもと、インターアクトの年次大会参加、米山奨学生との交流、RYLAセミナーでのお手伝いを積極的に行いました。地区内ローターアクトクラブ(RAC)の代表者会議であるアクターズミーティングも2ヶ月に1度必ず行い、地区内RAC間の連携を深め、基盤固めを強く意識しました。また、他地区のRACに対しても積極的な交流を図り、近隣の東京、神奈川、茨城、埼玉との交流はもちろん、北海道主催のRAC交流会にも参加致しました。年次大会では友好地区よりたくさんの方々が参加登録してくれて活気のある年次大会となりました。



青少年交換委員会
委員長 三神 秀樹 (千葉南RC)

本年度は、長期交換留学生が5名、短期交換が3名、そして次年度派遣される長期・短期候補生6名と毎月のオリエンテーションや行事を実施いたしました。例年に比べ人数が多く喜びも多かったのですが、新規派遣先とのやり取り等では難しさも感じる場面もありました。インバウンド留学生受け入れクラブから卓話を頼まれ、次年度委員長と

一緒に伺ったことも良い経験となりました。またRIJYEC主催の第23回日本青少年交換研究会・千葉会議の開催地区の実行委員長としての機会を与えられ、全国から多くの来訪者をお迎えすることができ、大変恵まれた青少年交換委員長でした。スポンサークラブ、ホストファミリー、そして関係者一同に心より感謝いたします。



RYLA委員会
委員長 **阿部 昭広** (君津RC)

RYLA委員会では平成30年2月17日～18日の1泊2日の日程で、第41回目の「ロータリー青少年指導者養成プログラム Rotary Youth Leadership Awards」を開催しました。RYLAに参加した若者とロータリアンは「歩行ラリー」という教材のもとで寝食を共にしながら、共に考え、共に議論し、共に検証し、問題解決を目指しました。当日の朝に初めて会った年代も職種も違う人と協力していかなければならず、そういった環境の中で、自分の考えを伝えたり、他人の意見に耳を傾けたり、議論・検証を重ねていく中で、リーダーシップを身につけていただく一助になったのではないかと考えています。



ロータリー学友委員会
委員長 **酒井 秀光** (茂原RC)

学友委員会の目的はロータリーファミリーの一員であるロータリー学友とクラブを結びつけ、末永い関係を築くための支援をするのが地区学友委員会の役割です。また、地区内の学友会の監督にもあたります。

「ロータリー学友」とは以下のプログラム終了者です。
・(インターアクト)・(ローターアクト)・(ロータリー青少年交換)・(新世代交換)・(ロータリー青少年指導者養成プログラム《RYLA》)・(ロータリー平和フェロシップ)・(ロータリーの奨学金《グローバル補助金、地区補助金》)・(米山奨学生)

私たち地区学友委員会は学友がロータリーと末永い関係を保てるよう、学友との協力方法を会員に知らせたり、ロータリーのウェブサイトMy ROTARYでアカウント登録するよう学友に促します。また、ロータリーのプライバシー方針と青少年保護方針、各国の法律が順守されるよう確認したり、学友行事と学友会を支援し、調整を図っています。

学友会関係委員会会議を開催いたしました。関係する委員会委員長にお集まり頂き、意見交換を致しました。各委員会の学友の立場が微妙に違うことを確認しましたが、会議の中で学友・現役の代表者が会議する場を設ける。仮称「RF (Rotary Family) 協議会」を地区学友委員会内に設置する事を承認しました。そのつながりがロータリー学友の和を広げることを期待します。

ロータリー財団統括委員会



財団資金・推進管理委員会
委員長 **水野 晋治** (柏西RC)

当委員会では各クラブの財団への寄付の傾向や実績など過去データの整理や分析に力を入れてきました。これらの資料を来年度以降に引き継いでいけるようデータ整理を行っている最中です。

また、最も力を入れてきました年次基金への寄付ゼロクラブの撲滅ですが、地区内83クラブの皆様のご理解とご協力のお陰で4月末にて寄付ゼロクラブがゼロとなりました。このような早い段階で寄付ゼロクラブがゼロとなった事は快挙ではないかと思えます。関係各位に感謝申し上げます。あとは、一人当たりの寄付額が日本全体の目標及び平均である一人当たり150ドルを達成できるよう最後の取り組みを行って行きたいと思えます。



グローバルプロジェクト小委員会
委員長 **時田 清次** (市原中央RC)

今年度のグローバル補助金事業は、勝浦RCとコロンボRCの共同事業であるDRINKING WATER PROJECTが完成報告を行います。新規事業として、市原中央RCと台湾 新竹西北RCとの新竹県にある私立カトリック華光智能発展中心という心身障害施設の支援事業が申請中です。また、千葉幕張RCがフィリピン・アラバングRCとの貧困地区の資源再生施設を再生と教育を行い自立させる事業を計画しています。

重点分野の傾向としては、水と衛生のプロジェクトが多かったのですが、今年度は経済と地域社会の発展が多くなっています。「世界に良いことをしよう。」を実現するためにグローバル補助金の活用をお願いします。



地区補助金プロジェクト委員会
委員長 **清水 隆** (千葉若潮RC)

私が財団委員会に所属して3年の任期を終えて、思い抱いていることがあります。

全てのロータリアンが奉仕プロジェクトを体験でき、感じたことを意見として述べられるクラブが、新たに変わることができると思っています。各クラブを活性化するためには地区委員会が変わらなければなりません。地区が変わるためには各クラブの奉仕活動(プロジェクト)を活発にしなければなりません。第2790地区がより良いロータリークラブとなる為に皆様のお力添えを必要としています。今年度は83クラブ中、約半数のクラブより地

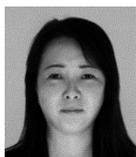
区補助金申請をいただき、各クラブの会長、幹事そして会員の皆様には深く感謝しております。



奨学生・学友委員会
委員長 山本美代子 (習志野中央RC)

2018-19年度の奨学生選考会は、4月15日に行いました。グローバル補助金奨学生5名、地区補助金奨学生2名、合計7名の応募がありました。グローバル補助金奨学生1名(最大2名)、地区補助金奨学生1名という狭き門の中で、毎年、優秀な奨学生候補者が集まって参ります。

学友たちは、奨学生候補の厳選なる選考会や、オリエンテーションに毎回出席し、奨学生が不安なく留学できるよう沢山の情報提供をしてくれます。また、その他の活動としましては、日本学友会総会への参加、世界大会の参加、他地区学友会の交流など様々な面で積極的に活躍しております。奨学生の帰国後は、学友会の役員などを務め、活躍しております。



ロータリーポリオプラス委員会
委員長 中沢由岐子 (柏RC)

ロータリー財団活動、ポリオプラスへのご協力を賜りましてありがとうございます。委員長というお役目を頂き、これまでのロータリー活動に反省をするばかりでした。ポリオという疾病の事、撲滅を目指す意味、なぜポリオ撲滅をするのか。地区の皆様は何をどう伝える事ができるかを考えました。まず、ポリオプラス活動に長きにわたり携わっていらっしゃる先輩ロータリアンにご教授頂く事から始めました。そして、2790地区だけではなく他地区の先輩ロータリアンにも教えを頂きました。そして、財団室の皆様にもご教授頂き、どうにか皆様にお伝えできるまでになりました。ありがとうございます。

自クラブにいたるだけでは分からなかったロータリーを学ぶ有意義な一年になりました。

先輩ロータリアンへの尊敬と感謝の念で一杯です。



ロータリー平和フェローシップ委員会
委員長 織田 信幸 (松戸RC)

ロータリー平和センタープログラムはポールハリス没後50周年を記念し創設されたポリオ撲滅に次ぐ重要なプログラムです。世界平和と紛争解決に向けたリーダー(平和フェロー)を育成します。このプログラムが始まって既に16年が経とうとしておりますが認知度が低いのが現状で、彼らがどのような過程で選ばれ、どこの大学で何を学び、その後どのように育ち活躍しているのかを知る

ロータリアンは少ないのではないかと思います。今年の地区大会では「青少年の集い」にフェローが参加し、彼らとの交流企画が実現しました。また、月信(1月号、2月号)を通じプログラム紹介とフェローの寄稿文を掲載する機会を得ました。どうかこのプログラムの素晴らしさと意義についてご理解を賜りたいと存じます。



希望の風推進委員会
委員長 宮本 和夫 (千葉幕張RC)

今年度2790地区の皆様方にはたいへんお世話になりました。1年間どのような活動を行うか考えていた時に、いくつかのクラブから卓話の依頼がありました。お話を伺ううちに、まだまだ希望の風奨学金についての内容がよくわからないクラブが多いのだと言うことがわかり、なるべく詳しくお話しをしていくことにいたしました。其のうえで援助の方法をお知らせいたしました。また、周年行事等に多額の御寄附お頂いたクラブ、折につけて御寄附頂いたクラブ、個人の皆様に感謝いたします。まだまだ奨学金は資金不足であります。今後ともよろしくお願いいたします。

米山記念奨学委員会



米山記念奨学委員会
委員長 富 一美 (成田空港南RC)

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会にとりまして、今年度大きく取り上げるべきは、米山奨学財団50周年ではないかと思います。米山の歴史を振り返りますと、1952年に米山基金として米山奨学事業が始まって65年、1967年に財団法人になってから50年目という大きな節目の年度を迎えました。2018年2月4日(日)、米山梅吉翁生誕150周年の記念すべき日に、米山奨学財団50周年記念式典がホテルグランドニッコー東京台場で盛大に挙行されました。当日は、フォーラムと祝賀会の2部構成で行われまして、日本全国、そして、世界各国から約700人超に及ぶ方々がお集まりになり、先人の残した成果を称え合い、また、米山精神を旗印に、より良い世界、国際理解と親善、平和構築に向けて更なる発展を確認し合うことが出来た式典ではなかったかと思います。それから2018年3月10日(土)に、2017学年度の奨学生23名は、お陰様をもちまして、無事終了式(卒業式)を迎えました。終了される奨学生の皆さんを支えてこられたカウンセラーの皆様や世話クラブの皆様、これまで熱心に指導してこられた指導教員の皆様及びその勉学や生活を支援されてきた学生課職員の方々にも、心から感謝いたしましてご報告とさせていただきます。

文庫通信 (368号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報

- ◎「私がロータリアンになって学んだこと」 田中作次 2017 1p (D.2660地区大会参考資料)
- ◎「素晴らしいロータリアンであり続けるために」 渡辺好政 [2018] 3p (D.2790地区大会記念誌)
- ◎「奉仕の理想(理念)と職業奉仕論について」 渡邊宏二 2018 2p (D.2530月信)
- ◎「これからのロータリーを考える－規定審議会より見えるもの－」 三木 明 2018 7p (D.2780地区大会報告書)
- ◎「『四つのテスト』に対する愚見」 岡田幹矢 2018 1p (D.2710月信)
- ◎「ロータリーの今日的課題」 鈴木秀憲 [2018] 17p (D.2530地区大会記念誌)
- ◎「会員増強の新しい考え方」 2018 2p (D.2650月信)
- ◎「会員増強の発展(3つの方法があります)」 加藤玄静 2017 1p (D.2660地区大会参考資料)
- ◎「会員維持のための12のポイント」 加藤玄静 2017 1p (D.2660地区大会参考資料)
- ◎「夢を語り、現在(いま)を刷新(ガバナー月信ロータリーコラム総集編)」 刀根莊兵衛 2017 67p
〔上記申込先：ロータリー文庫〕

— ロータリー文庫 —

〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp> 開館：午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

(公財) ロータリー米山記念奨学会ニュース (ハイライトよねやま218号)

今月のトピックス

- ・さいたま大空RCが5周年を迎えました
- ・博士号取得状況 — ぜひ世話クラブでお祝いを —
- ・50周年記念誌・記念ネクタイ、大好評頒布中!
- ・モンゴル米山学友会が総会開催 — 新役員を選任 —
- ・米山翁の合同墓参 — 東京学友会・第2590地区学友会 —
- ・寄付金速報 — 50周年度も残り2カ月 —

《今月のピックアップ記事》

モンゴル米山学友会が総会開催 — 新役員を選任 —

モンゴル米山学友会の第5回総会が4月21日に開催され、学友18人が参加しました。活動報告・経理報告につづき、「2017年度最優秀会員賞」としてオユンメチグ・アマルトゥップシンさん(2004-05/弘前東RC)が表彰されました。

また、役員の変更が行われ、これまでのシルネン・プヤンジャルガル会長から、新会長としてオイドブ・バトゲレルさん(2005-07/前橋RC)が就任しました。

5月1日には早速、第1回例会が開かれ、参加者23人が自己紹介や抱負を述べたあと協議を行い、理事11人を決定しました。

◆世界大会inモンゴルが2019年7月27日に開催されます!◆

昨年開催された「感謝in熊本」のように、米山学友とロータリアンが大集合する親睦会が2019年に予定されています(主催：モンゴル米山学友会実行委員会)。

モンゴルに行ってみよう方、たくさんの学友・ロータリアンに会ってみたい方、ぜひご予定に入れておいてください。

実行委員長：ジャンチブ・ガルバドラッハ 幹事：ナサンバヤル・ボロルマー

そのほかの記事は、ぜひPDF版をご覧ください。→http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight218_pdf.pdf

叙勲・褒賞・表彰 (敬称略)



旭日双光章 端宝双光章 藍綬褒章
林 康博 (成田コスモポリタンRC)
中村 亮太 (旭RC)
栗田 壯一 (八日市場RC)

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



青木 修 (流山RC) 4回目
高橋 繁 (松戸西RC) 1回目

新ポール・ハリス・フェロー



松本 恭一 (銚子RC)
佐藤 清 (松戸中央RC)
伊藤 賢一 (流山RC)

ポリオ・プラス



山口 習明 (船橋東RC)
諸岡市郎左衛門 (成田RC)

米山功労者



石橋菊太郎 (成田RC) 5回目
松本 恭一 (銚子RC) 3回目
藤崎 祥弘 (成田コスモポリタンRC) 2回目
飯島 栄 (成田コスモポリタンRC) 2回目
加瀬 邦雄 (成田コスモポリタンRC) 2回目
山本 武広 (成田コスモポリタンRC) 2回目
篠澤 正 (浦安ベイRC) 1回目
高橋 茂夫 (浦安ベイRC) 1回目
水嶋 陽子 (銚山RC) 1回目



萩原 康宏 (成田コスモポリタンRC) 1回目

新ロータリアン (敬称略)



齋 成徳 (八千代中央RC) 物流 1月1日入会
小栗 孝子 (八千代中央RC) 小料理 2月6日入会
伊場 寛人 (八日市場RC) 銀行 4月3日入会
吉田 智明 (茂原RC) 化学工業品製造 4月5日入会
柴田 実 (野田RC) 地方銀行 4月9日入会
井桁 裕之 (松戸北RC) 貯蓄銀行 4月11日入会
内山 雅博 (君津RC) 地方銀行 4月16日入会
菅谷 弘吉 (銚子東RC) 普通銀行 4月17日入会
小川三喜男 (鴨川RC) リゾートホテル 4月18日入会



平岩 敦 (船橋西RC) 証券業 4月20日入会
岡田 敦志 (千葉南RC) オフィス事務機器販売 4月20日入会
石田 洋平 (成田RC) 航空運輸 4月20日入会
中野 直人 (成田RC) 航空運輸 4月20日入会
長谷川幸吉 (市川ビックRC) 和食 小料理 4月23日入会
大井 清司 (千葉RC) 建築 4月23日入会
水越真一郎 (千葉RC) 損害保険 4月23日入会
佐藤 拓司 (我孫子RC) 銀行 4月24日入会
畑村 啓太 (銚山RC) ホテル 4月25日入会



西田 秀樹 (銚山RC) 生命保険 4月25日入会
加藤 栄徳 (成田コスモポリタンRC) 警備業 4月25日入会
志津 晃司 (千葉RC) 医療福祉 5月2日入会
川杉 朋弘 (千葉RC) 損害保険 5月7日入会
三浦 和貴 (袖ヶ浦RC) 都市ガス製造 5月7日入会
山本 浩二 (銚山RC) 生命保険 5月9日入会
飯尾 真 (木更津RC) 電力事業 5月10日入会
伊藤 裕一 (木更津RC) 貯蓄銀行 5月10日入会
秋場 貴子 (茂原RC) 酒類製造業 5月10日入会



鷺見 嘉信 (松戸東RC) 住宅設備工事 5月11日入会
小林 裕則 (松戸東RC) 損害保険代理業 5月11日入会
坂井 時正 (千葉RC) 葬祭サービス 5月14日入会
長倉 一茂 (千葉RC) 建築 5月14日入会
林 龍男 (佐原RC) 証券取引 5月17日入会
吉田 恵一 (千葉RC) 電気事業 5月21日入会

国際ロータリー第2790地区 (千葉) 出席・会員数報告 (2018年4月)

分区	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2017 7/1	女性	当月	女性	増減
第1分区	市川	88.09	3	40	1	35	0	△ 5
	市川東	95.00	4	43	3	44	3	1
	市川南	81.00	4	19	2	20	2	1
	浦安	84.60	3	43	2	45	2	2
	市川シビック	82.04	4	32	0	35	0	3
	浦安ベイ平均	73.33	3	13	0	15	0	2
第2分区	船橋	91.84	4	29	0	31	0	2
	船橋西	89.25	4	42	7	42	7	0
	鎌ヶ谷	86.21	4	34	2	32	2	△ 2
	船橋東	85.10	4	32	3	31	3	△ 1
	船橋南	88.89	4	13	1	14	1	1
	船橋みなと平均	90.68	4	20	4	19	4	△ 1
第3分区A	千葉	89.74	3	80	3	84	4	4
	新千葉	74.69	4	51	0	53	0	2
	千葉西	81.65	4	45	3	53	4	8
	千葉中央	75.81	4	32	0	35	0	3
	千葉幕張	80.92	4	35	2	38	3	3
	千葉東	71.03	4	34	6	30	3	△ 4
	千葉若潮	68.06	3	31	1	34	1	3
	平均	77.41	3.71	44.00	2.14	46.71	2.14	19
第3分区B	千葉南	63.65	4	47	7	48	6	1
	市原	63.10	2	40	3	45	3	5
	千葉港	70.46	4	24	3	24	3	0
	市原中央	81.93	4	50	1	50	1	0
	千葉北	81.48	4	29	3	27	3	△ 2
	千葉緑	100.00	3	26	1	25	1	△ 1
平均	76.77	3.50	36.00	3.00	36.50	2.83	3	
第4分区	木更津	82.93	4	27	2	29	4	2
	上総	70.31	4	15	0	16	0	1
	富津中央	71.67	4	29	1	34	1	5
	木更津東	82.90	4	46	1	51	3	5
	君津	92.57	4	54	4	59	4	5
	袖ヶ浦	85.80	3	25	4	26	5	1
第5分区	富津シティ	60.70	4	16	0	14	0	△ 2
	平均	78.13	3.86	30.29	1.71	32.71	2.43	17
	館山	82.85	4	49	3	49	3	0
	鴨川	94.92	3	31	4	35	5	4
	勝浦	87.78	3	36	4	41	4	5
	千倉	60.00	4	6	2	5	2	△ 1
第6分区	鋸南	100.00	3	13	1	14	1	1
	館山ベイ	63.10	4	23	0	22	0	△ 1
	平均	81.44	3.50	26.33	2.33	27.67	2.50	8
	茂原	88.61	4	62	0	63	4	1
	東金	91.11	4	14	1	15	1	1
	大原	80.00	4	9	1	10	1	1
第7分区	大多喜	85.70	3	6	1	7	1	1
	成田空港南	71.53	3	35	0	33	0	△ 2
	茂原東	84.71	4	21	1	22	1	1
	茂原中央	91.99	4	21	2	22	2	1
	大網	76.61	4	31	1	31	1	0
	東金ビュー	61.60	3	20	1	20	1	0
平均	81.32	3.67	24.33	0.89	24.78	1.33	4	

分区	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2017 7/1	女性	当月	女性	増減
第7分区	銚子	86.81	4	39	4	42	4	3
	旭	71.50	4	43	3	45	4	2
	八日市場	70.32	4	38	2	38	2	0
	銚子東	75.69	4	32	2	31	2	△ 1
平均	76.08	4.00	38.00	2.75	39.00	3.00	4	
第8分区	佐原	74.81	3	49	0	48	0	△ 1
	多古	82.14	4	15	0	17	0	2
	小見川	79.00	4	23	0	25	0	2
	佐原香取	80.20	4	25	1	25	1	0
平均	79.04	3.75	28.00	0.25	28.75	0.25	3	
第9分区	成田	70.20	4	69	4	73	5	4
	八街	89.75	4	30	3	31	3	1
	印西	78.94	4	20	1	21	1	1
	白井	46.42	4	15	0	14	0	△ 1
	富	74.16	4	30	0	30	0	0
	成田コスモポリタン	66.69	4	69	0	70	0	1
平均	71.03	4.00	38.83	1.33	39.83	1.50	6	
第10分区	柏	74.20	4	62	9	62	10	0
	我孫子	71.60	4	26	3	27	2	1
	柏西	88.80	4	62	3	67	3	5
	柏東	83.50	4	35	6	41	9	6
	柏南	76.70	4	33	5	41	6	8
	平均	78.96	4.00	43.60	5.20	47.60	6.00	20
第11分区	習志野	74.61	4	26	2	25	2	△ 1
	八千代	88.56	4	51	0	50	0	△ 1
	佐倉	63.79	4	28	3	29	3	1
	八千代中央	93.00	3	22	1	24	2	2
	四街道	71.15	4	27	3	26	3	△ 1
	習志野中央	71.61	4	48	5	49	4	1
第12分区	佐倉中央	63.63	3	21	5	23	6	2
	平均	75.19	3.71	31.86	2.71	32.29	2.86	3
	松戸	89.05	4	55	0	58	0	3
	松戸東	88.31	4	46	0	46	0	0
	松戸北	81.29	4	39	0	40	0	1
	松戸中央	82.81	4	44	6	42	6	△ 2
第13分区	松戸西	87.50	4	29	0	28	0	△ 1
	平均	85.79	4.00	42.60	1.20	42.80	1.20	1
	野田	87.13	4	54	7	57	7	3
	流山	73.33	2	14	4	15	4	1
	野田東	77.38	4	22	0	22	0	0
	流山中央	94.73	3	22	2	22	2	0
野田セントラル	81.00	4	25	1	26	1	1	
	平均	82.71	3.40	27.40	2.80	28.40	2.80	5

クラブ数83RC		
2017年7月1日	地区会員数	2,761人
2018年4月末日	地区会員数	2,857人
2017年7月1日	地区女性会員数	177人
2018年4月末日	地区女性会員数	192人
当月平均出席率		80.29%
増減		+96
女性会員増減		+15

物故会員 (敬称略)



須本 精久 (第8分区 佐原RC)
 逝去日: 2017年11月19日 (享年80歳)
 入会日: 1996年7月11日



伊藤 操 (第12分区 松戸中央RC)
 逝去日: 2018年4月11日 (享年70歳)
 入会日: 1988年1月7日
 ロータリー歴: 2002-2003 クラブ会長



八田 亮三 (第8分区 佐原RC)
 逝去日: 2018年4月25日 (享年71歳)
 入会日: 1989年3月1日
 ロータリー歴: 2001-2002 幹事
 2011-2012 クラブ会長

6月のロータリーレート

110円



第46回 ローターアクト年次大会

2017-18年度 ローターアクト委員会 委員長 丸山 泰典 (銚子RC)

4月14日にポートホテルプラザ千葉に於きまして、開催されました第46回ローターアクト年次大会は、皆様のご協力のお陰で活気のある大会となりました。ご参加ご協力を頂きました当地区ロータリアンの皆様、誠にありがとうございました。

今まで以上に多くのロータリアンの方々にご参加頂けるということもあり、年次大会の朝のアクターは全員が緊張の面持ちでした。しかしながら、式が開催されると



そんな空気は一変し、大会テーマである『なごみ』の空気が会場を支配し、若者らしい和気藹々とした雰囲気では進行されました。寺嶋ガバナーにはアクト記念プログラムにもご参加頂き、壇上で素敵な笑顔を振りまいて下さったことで、よりいっそう『なごみ』の空気が強まったように感じました。地区活動報告は映像と音楽を駆使した見事な出来栄で、初めて参加された方々にもローターアクトの活動を分かりやすく伝えることが出来たのではないかと思います。



印象深いのは、北は北海道から、西は大阪のアクターを含め多くの友好地区アクターが参加してくれたことです。友好地区アクターが発言する機会もあり、友好地区アクターよりたくさんの元気をいただきました。次年度の更なる飛躍を期待できる年次大会となりました。

今後ともローターアクト委員会へのご理解とご支援をお願い致します。

編集後記

1年間ありがとうございました。

月信委員会 委員長 高田 新也 (柏RC)

2017-18年度ガバナー月信1年間の発行にあたり、2790地区の地区委員、委員長の皆様、ガバナー補佐の皆様、各ロータリー、ロータリアンの皆様には、ご寄稿、ご協力いただきまして、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

ガバナーの発信すること、ガバナー補佐、地区委員会活動の掲載がメインでしたが、この裏表紙を含め、米山記念奨学委員会の奨学生、青少年奉仕統括委員会のローターアクト、インターアクト、青少年交換留学生、R平和フェロー、学友委員会等のそれらに関わる青少年、地区委員の皆様への活動に特にスポットを当て、掲載してきました。2790地区のロータリアンの皆様の心に少しでも留めていただけたら、幸いです。

最後に、毎月の月信発行にご尽力いただいた月信メンバー、ガバナー事務局、印刷の外立様(千葉北RC)、本当にありがとうございました。



委員長 高田新也(柏RC)、副委員長 畔高弘樹(柏RC)、大山球一(柏RC)、板津守(柏RC)、藤川崇(柏RC)、外立徹(千葉北RC)、藤沢朋(柏RC)、小林太時(柏西RC)、櫻井好美(柏南RC)、武藤弘(印西RC)、鳥塚亮(佐倉中央RC)



狩野探信 草花虫図

狩野探信(かのう たんしん 生没年…天明五年〜天保六年 西暦一七八五年〜一八三六年)は、江戸幕府御用絵師・鍛冶橋狩野家七代目に当たる絵師。先祖に当たる鍛冶橋狩野家二代目の狩野探信守政と区別する為に、狩野探信守道とも呼ばれる。探信守道は家を再興する為に、狩野探幽に学んで没骨的色彩画法を復活させようとした。江戸時代の狩野派が忌避していた風俗画も積極的に手がけ、浮世絵風の作品も残している。